

平成23年度第1回 福岡市立学校給食運営検討委員会 議事録

1 開催概況

- (1) 日 時：平成23年5月24日（火） 14:00～16:00
- (2) 場 所：福岡市学校給食センター内 給食会館2階会議室
- (3) 出席委員：秀平キヨミ委員長，永野繁一副委員長
宗像壽子委員，松田瑞恵委員，新飼恵子委員，凶師不二子委員，
古河満子委員
杉山大樹委員，梅林秀巳委員，中村かず子委員，祐成典子委員
井上真理子委員，藤木智子委員，泊孝子委員，曾根田秀明委員
池田一司委員（代理出席），野忠雄委員，大塚浩喜委員（以上18名）
- (4) 事務局：9名

2 議事録（要旨）

(1) 議題1：(仮称)第1給食センター整備計画の検討経緯について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような質問や意見がなされた。

- ・ 民間委託となった場合に事故が起きた場合の責任の所在はどのようになるのか。
- ・ 資料2ページには第1センターの稼働に併せ、知的障がい特別支援学校5校一斉の暫定配送実施を検討とあるが、これは暫定的に第1センターの配送エリアではない知的障がい特別支援学校も含め第1センターから配送を行い、第2センター、第3センターが完成した時点で近隣のセンターからの配送に変更する知的障がい特別支援学校があるということか。
- ・ 資料4ページに記載されている配送エリアは区単位で区切るのか。保護者からすれば、区毎で区切る方が理解しやすいと思うが。
- ・ 知的障がい特別支援学校の一斉配送の件にしても、配送エリアの件にしても、市として説明・情報提供をきちんと行うことが大事である。

ウ 以上の質問や意見を踏まえて、事務局等から次の通り回答や発言があった。

- ・ 学校給食法に基づき学校給食は市が責任を持って行っていく。なお、万が一事故が遭った際の賠償責任の割合等については委託契約を締結する際に明記することとなる。
- ・ 知的障がい特別支援学校5校への暫定的な一斉配送については、ご質問の通りである。暫定的な配送であり、本来の配送エリアでないエリアにある知的障がい特別支援学校については学校と極力調整して2時間喫食が達成出来るように努めることとしているが、予期せぬ渋滞等でどうしても2時間喫食を達成出来ないケースがあるかもしれないという旨は説明したが、それでも新センターからの配送をお願いしたいという特別支援学校の保護者等の強い要望を踏まえて、行う方向で検討することとなったものである。
- ・ 第1センターの配送エリアについては現段階では健康教育課としては博多区・南区を想定しているが、提供食数等の関係があり、場合によっては区毎に配送エリアを設定することは困難かもしれない。また、給食センターの再整備が終了する平成30年度までの移行期間については、配送エリアの調整等があるかもしれない。
- ・ 市としても知的障がい特別支援学校の一斉配送の件、配送エリアの件についてはきちんとした説明・情報提供に努めていく。

エ 以上の回答や発言に対して、委員一同了承した。

(2) 議題2：学校給食費の改定について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような意見がなされた。

- ・ 栄養摂取基準量を引き上げるためにも給食費の値上げをするべきである。
- ・ 現場で見ているとハンバーグの中身がチキンや豆腐になっていること、果物の提供回数が減っていることはひしひしと感じる。
- ・ エビフライやトンカツがないというのはあまりにもかわいそうだ。400円位値上げしてもいいので、子ども達に食の楽しさを与えてやって欲しい。
- ・ 給食の内容について、昔と比べると見た目からして違うという声を聞く。食の楽しみという側面もあるので献立の内容を充実させる必要があると思う。
- ・ 値上げには賛成である。値上げに伴い、地産地消を少しでも推進して欲しい。
- ・ 保護者としては300円まではしょうがないと思えるが、400円となると兄弟が多い家庭には少し厳しい面もあるかと思う。
- ・ せっかく値上げをするのに200円の値上げでは献立があまり変わらないように感じる。保護者としては給食費が上がるのであれば献立が目に見えて変化がないと理解が難しいのでは。
- ・ 金額ありきで考えるべきではなく、子どものことを第一に考えるべきだ。200円の値上げではまた近いうちに今と同じ状況に陥ってしまうのではないか。個人的には400円の値上げでも構わないと思っている。どうすべきかという問いに対して、元に戻すという以外にも考え方はいろいろあろうが、元に戻すのが妥当と思う。献立の内容が以前のように楽しみがあるものでないと意味がない。親の都合で考えると引き上げ額は小さい方がいいこととなる。月額や年額で考えると相当な負担増の意識となるが、1食当たりで考える必要がある。月額400円は1食当たり24円程度である。子どものために1食当たり24円の増額は理解してもらえないのではないか。
- ・ 給食費を値上げせざるを得ない理由を分かりやすく説明することが大事である。値上げの理由が分かれば保護者の納得は得られると思う。説明にあたっては分かってもらえる工夫をして欲しい。
- ・ 給食費の値上げについては納得している。ただ、次の改定期期については、「一定額の過不足」が生じた時をどう捉えるのかが引っかかる。そのあたりは事務局から納得のいく説明が必要だと思う。

ウ 以上の意見を踏まえて、委員長・副委員長から学校給食費の改定についての本委員会の結論が以下の通り提示され、挙手方式によって全会一致で承認が確認された。

「給食費の値上げはすべきである。値上げ額は最大400円でもやむを得ない。」

エ 以上の意見を踏まえて、事務局から次の通り提案があり、委員一同了承した。

「本委員会での結論を最大限尊重したいと考えている。事務局としても早い段階で値上げ額を決定し、3ヶ月以上の周知期間を設け、保護者への情報提供を行い、分かりやすい説明を行っていく。」